

# 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組状況について

## 1 目的

「文化力」を生かした自立・持続可能な地域づくり

## 2 取組の柱

- (1) 自発的な地域づくりグループへの支援
- (2) 自立性・持続性を高めるしくみづくり
- (3) 新たなイベントスタイルによる地域力の結集と成果の情報発信

### 【基本構想より】

#### 〔テーマ〕

「めぐる つむぐ はぐくむ 常若の三重」

#### 〔基本理念〕

私たち日本人の暮らし、生き方の原点を見つめ直すことで、人と人、人と地域、人と自然の関係を創り上げ、自立・持続可能な地域づくり～<sup>うま</sup>美し国おこし～を進めます。そして、地域づくりのさまざまな取組や活動、その成果をイベントを通じて、全国、世界に発信していきます。

#### 〔基本方針〕

- (1) 地域の個性や文化にこだわります
- (2) “私たちの暮らしの場” そのものが舞台です
- (3) 住む人、訪れる人、みんなが主役です
- (4) 目的を共有し、取組の成果を検証します
- (5) 新たなイベントのスタイルを創造します

## 3 取組の概要

「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」は、地域の多様な主体が「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会を設立し、特色ある地域資源を生かして取り組む地域づくりを基本に、多彩な催しを展開することにより、地域の魅力や価値を向上させ、発信するとともに、集客交流の拡大を図り、自立・持続可能な地域づくりへとつなげていく取組です。

2009年(平成21年)のオープニングに始まり、「地域での<sup>うま</sup>美し国おこし」と「テーマに基づき全県的に取り組む<sup>うま</sup>美し国おこし」に6年間にわたって取り組み、その成果を2014年(平成26年)の集大成イベントへ集約し、披露します。

まずは、この取組の基本となる座談会を各地域で開催し、地域における“絆”づくりや地域資源を活用して付加価値づくりに取り組む地域の皆さんのグループ化やグループの活性化を図ります。

実行委員会は、地域をより良くしていこうとする活動が自立・持続できるよう、この取組の期間中、人づくり、グループ育成のための支援を行っていきます。

## 4 取組の構成

- (1) 地域での<sup>うま</sup>美し国おこし  
地域の皆さんが主体的に地域づくりを継続していけるよう、地域の連携や、しくみづくりを進めていきます。  
「座談会」の開催  
パートナーグループ登録の実施  
サポートメニューの運用（人材育成研修、専門家派遣、財政的支援など）  
成果発表・交流会の開催
- (2) テーマに基づき全県的に取り組む<sup>うま</sup>美し国おこし〔2010年（平成22年）～〕  
パートナーグループの活動の中から共通する分野の活動を連携し、「テーマに基づき全県的に取り組む<sup>うま</sup>美し国おこし」として全県での取組を推進します。
- (3) 節目に行う効果的な情報発信の取組  
「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」オープニング〔2009年（平成21年）〕  
多様な主体による地域づくりの全県的な取組としての期待感を醸成するオープニングを行います。  
「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」オープニング宣言（4月18日（土））  
オープニング（地域づくりを「対話する」大会）  
… 市町での拡大座談会、広域での「対話する」大会  
オープニング（地域づくりを「実践する」場）  
… キックオフプロジェクト  
オープニング（県や市町などの大規模イベントとの連携）
- 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」集大成イベント〔2014年（平成26年）〕  
「<sup>うま</sup>地域での美し国おこし」と「<sup>うま</sup>テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」の成果を集約・披露し、各パートナーグループの活動の集大成となる集客交流イベントを展開します。そして、その成果を共有し、自立・持続可能な地域づくりの新たな出発点とする宣言を行い、その後の地域づくりにつなげていきます。

## 5 これまでの経緯

- 平成19年 2月 三重県が、「こころのふるさと三重」づくりをテーマとしたイベント基本構想検討委員会を設置（以降3回開催）  
8月 条例（6月に設置条例可決）に基づき三重県が基本構想策定委員会を設置（以降、小委員会を含めて5回開催）  
11月 基本構想策定委員会 若林委員長から知事に基本構想を答申  
三重県が「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」推進本部を設置
- 平成20年 2月 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会設立、基本構想確定  
4月 基本計画の策定に着手

- (有)Landa Associates (代表：宮本倫明氏) に調査委託
- 9月 三重県議会第2回定例会9月会議に三重県基本計画を議案として提出
- 10月 三重県議会公聴会の開催及び常任委員会における参考人招致
- 11月 執行部において訂正した三重県基本計画議案が県議会において可決
- 平成21年1月 実行委員会第4回会議において、実行委員会基本計画承認  
 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」プロデュース及び平成21年度実施計画策定調査業務を公募。選定の結果、(有)Landa Associates (代表：宮本倫明氏) に決定
- 座談会、説明会などの開始(最初の座談会は1月31日(土)の玉城町)
- 県の地域機関(県民センター単位) に「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」地域支援本部を設置
- 4月 三重県が「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組を多様な主体とともに総合的に推進するため、各県民センターに「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」推進室職員(職員1名、非常勤職員1名)をそれぞれ配置
- 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」のオープニング宣言、シンボルマーク最優秀賞受賞者表彰式、地域でのPR活動の実施

## 6 平成21年度の取組状況

### (1) 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」オープニング宣言

4月18日(土)「県民の日」記念事業の中で、実行委員会会長(三重県知事)によるオープニング宣言やシンボルマーク最優秀賞受賞者表彰式等を行うとともに、県内各地で、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」のPR活動を行い、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の本格的な取組を開始しました。

### (2) 「座談会」等の開催状況

座談会等の開催につきましては、「地域づくりに取り組んでいる」或いは「これから始めようとする」住民の皆さんを対象に、地域の課題や将来の展望を語る場となる座談会、説明会等を市町と調整の上、別紙のとおり開催しています。(1月末日現在、延べ523回開催。P7参照)

### (3) パートナーグループ登録の状況

「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組の趣旨に沿って、自発的に地域をより良くしていこうとする活動を行うパートナーグループの登録を開始しました。毎月15日までに実行委員会に申請をいただき、月末までに登録手続きを行っています。

1月末までに合計132件の登録を行いました。

### (4) サポートメニューの運用

人材育成研修の実施

パートナーグループや中間支援組織、市町職員等を対象とする「ファシリ

テーション研修」及び「広報・情報発信研修」を平成21年度から3年間実施します。今年度受講された皆さんからは、概ね好評を得ています。(P8参照)

【平成21年度実施エリア・時期】

- ・ ファシリテーション研修(期間中の4日間実施) 52名が受講  
津(8~10月) 四日市(8~10月) 伊勢(9~11月)
- ・ 広報・情報発信研修(期間中の3日間実施) 51名が受講  
桑名(9~10月) 尾鷲(10~11月) 伊賀(10~11月)

専門家派遣の実施

パートナーグループの活動を活性化し、課題を解決するため、パートナーグループの要請に基づき、プロデューサーと協議の上、ふさわしい専門家を派遣しています。(平成22年1月末現在5件)

財政的支援の実施

プロジェクトを企画し、認定を受けたパートナーグループに対し、市町の考え方に沿って、初期投資にかかる経費を1回に限り市町とともに支援しています。(平成22年1月末現在4件)

(5) サポーターズクラブの創設

「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の趣旨に賛同し、取組を応援していただける方に、取組のPRや実行委員会の取組・パートナーグループの活動の支援をお願いするものです。サポーターの方に「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の情報をお届けし、可能な範囲でお手伝いいただけることを期待しています。(P9、10参照)  
1月末現在46名9団体にご登録いただいています。

(6) マスコットキャラクターの募集

平成22年2月25日(木)まで、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組にふさわしいマスコットキャラクターの募集を行っています。(P11、12参照)

(7) オープニング(地域づくりを「対話する」大会)

「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の理念や取組を知っていただき、地域の課題や展望について、地域づくりに取り組む皆さんが対話する集会を、ワールドカフェ方式で行います。(市町と調整の上、実施します。)(P13、17参照)

市町での拡大座談会

平成21年6月25日(木)に紀宝町、10月15日(木)に志摩市、11月4日(水)に伊勢市、11月8日(日)に多気町、11月22日(日)に桑名市、11月29日(日)に紀北町、平成22年2月7日(日)に紀宝町で実施

広域での「対話する」大会

県内5箇所で開催することとしており、平成21年12月20日(日)に玉城町、平成22年1月23日(土)に津市、1月30日(土)に桑名市、2月6日(土)に名張市で実施

【今後の予定】

平成22年2月14日(日) 尾鷲市中央公民館

- (8) キックオフプロジェクト(オープニング (地域づくりを「実践する」場))  
「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組のモデルとなる事業をキックオフプロジェクトと位置づけ、積極的に支援し、広報していきます。(P13 参照)  
また、活動成果を発表する交流会を平成22年2月28日(日)にメッセウイング・みえで開催します。(P14~16 参照)

【キックオフプロジェクト名】 ( )内は、主たる活動地域  
桑名の千羽鶴(連鶴)プロジェクト(桑名市ほか10市町)  
地産地消・商店街活性化・福祉のまちづくり連携プロジェクト(四日市)  
住民交流カフェプロジェクト(亀山市)  
手作り甲冑プロジェクト(津市)  
たき環境くらぶ「竹遊号(ちきゅうごう)」プロジェクト(多気町)  
参宮ブランド「擬革紙」復興・振興プロジェクト(玉城町ほか3市町)  
地域の文化人をテーマにした地域づくりプロジェクト(名張市)  
下河内の里山を守るプロジェクト(紀北町)

東紀州地域の農業を守れ 侍プロジェクト(七人の農業人獲得大作戦)  
(紀宝町ほか4市町)  
医食同源・三重の生物資源利活用プロジェクト(伊勢市ほか18市町)

## (9) オープニング

県や市町などの大規模イベントと連携し、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組をPRしていきます。

熊野古道世界遺産登録5周年記念事業との連携(7月、11月)

第33回全国高等学校総合文化祭との連携(7月)

上記の他、第29回世界新体操選手権三重大会、伊勢湾台風50年事業「2009防災のつどい・みえ」、木曾三川公園「流域祭2009」、「子育て応援!わくわくフェスタ」、「第3回美し国三重市町対抗駅伝」、「メディカルバレーフォーラム2010」におけるPRブースの設置 など

## 7 平成22年度の取組

### (1) 地域での<sup>うま</sup>美し国おこし

平成21年度に引き続き、県内各地で座談会を開催するとともに、それを契機としてパートナーグループの登録を進めていきます。そして、パートナーグループの活動が自立・持続するよう、実行委員会が中心となって、サポートメニューを活用いただきながら、しっかりと支援していきます。

### (2) テーマに基づき全県的に取り組む<sup>うま</sup>美し国おこし

テーマに基づく取組の初年度となる平成22年度は、これまでに登録いただいた132のパートナーグループ(平成22年1月末現在)の活動の中から、基本構想にある「人と自然の“絆”づくり」を理念とした「海の命・森の命」をテーマ案として、関連するパートナーグループの交流・連携を進めるなど、全県での取組として展開していくこととしています。

(3) 平成22年度当初予算案

214,188千円(うち、実行委員会負担金175,566千円)

## 8 その他「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」取組紹介番組の放送

三重テレビの「輝け三重人」において放送された「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組を15分に編集し、紹介する番組を3回にわたって、三重テレビで放送しています。

第1回 平成22年2月 7日(日) 9時00分から 9時15分

第2回 平成22年2月20日(土) 12時30分から 12時45分

第3回 平成22年3月 7日(日) 9時00分から 9時15分

なお、同番組は2月15日から3月31日までの期間中、全CATVにおいても放送されます。

「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」座談会等開催実績及び今後の開催予定

1. 座談会等開催実績(1月31日現在)

(単位:回数)

月	座談会	個別座談会	説明会等	合計	備考
H21 1~3月	11	0	7	18	
4~6月	22	85	24	131	
7~9月	28	133	24	185	
10~12月	12	128	9	149	
H22 1月	1	38	1	40	
計	74	384	65	523	

※ 個別座談会:グループごとに行う座談会

2. 今後の開催予定(2月10日現在)

日時	市町名	場所	内容
2月10日(水) 19:00~21:00	津市	津市美杉町多気地域住民センター	個別座談会(1グループ)
2月14日(日) 14:00~16:00	桑名市	県桑名庁舎 会議室	個別座談会(1グループ)
2月15日(月) 10:00~12:00	東員町	東員町内	個別座談会(1グループ)
2月15日(月) 15:00~17:00	川越町	川越町役場 会議室	個別座談会(1グループ)
2月15日(月) 15:30~19:00	明和町	明和町役場	個別座談会(2グループ)
2月16日(火) 12:00~14:00	伊勢市	伊勢市内	個別座談会(1グループ)
2月16日(火) 15:00~17:00	東員町	東員町内	個別座談会(1グループ)
2月16日(火) 18:30~21:00	南伊勢町	南伊勢町内	個別座談会(1グループ)
2月16日(火) 19:00~21:00	東員町	東員町役場 会議室	座談会(町内の地域づくり団体への周知及びHPでの公募)
2月17日(水) 10:00~21:00	志摩市	志摩市内	個別座談会(数グループ)
2月17日(水) 19:00~21:00	松阪市	松阪市内	個別座談会(1グループ)
2月17日(水) 19:00~21:00	木曾岬町	木曾岬町役場 会議室	個別座談会(1グループ)
2月18日(木) 19:00~21:00	大紀町	大紀町役場 議会棟 会議室	座談会(町内の地域づくり団体への周知及びHPでの公募)
3月15日(月) 9:30~11:30	四日市市	四日市市内	意見交換会(1グループ)

担い手の育成（研修実績）

H21.11.30現在

ファシリテーション研修（各会場とも定員20名）			受講者数 / 定員数 52 / 60	
日程	主な内容	津会場	四日市会場	伊勢会場
Step1	ファシリテーションの基本 （2日連続研修） ・＜聴く力＞の養成 ・場を和ませる技法 ・ファシリテーション演習 ・プロセスデザイン ほか	日時 8月8日（土） 10時～17時 8月9日（日） 10時～17時 場所：津市市民活動センター 受講者実績：16人	日時 8月29日（土） 10時～17時 8月30日（日） 10時～17時 場所：じばさん三重 受講者実績：16人	日時： 9月26日（土） 10時～17時 9月27日（日） 10時～17時 場所：伊勢市観光文化会館 受講者実績：20人
Step2	ファシリテーションの実践 ・「美（うま）し国おこし・三重」の座談会等での実地研修 （コーディネーターが情報提供&アドバイスでサポート）	8月中旬 10月上旬 （各受講者1回以上実地を体験） 受講者実績：16人	9月初旬 10月中旬 （各受講者1回以上実地を体験） 受講者実績：12人	9月下旬 11月中旬 （各受講者1回以上実地を体験） 受講者実績：19人
Step3	自分らしいファシリテーションとは？（1日研修） ・ステップ2のふりかえり （実践での課題と将来の展望を共有） ・ファシリテーション全般についての課題検討 ・目標とするファシリテーター像	日時 10月10日（土） 10時～17時 場所：三重県栄町庁舎 受講者実績：14人	日時 10月24日（土） 10時～17時 場所：じばさん三重 受講者実績：10人	日時 11月21日（土） 10時～17時 場所：伊勢市観光文化会館 受講者実績：15人

広報・情報発信研修（各会場とも定員20名）			受講者数 / 定員数 51 / 60	
日程	主な内容	桑名会場 桑名工業高校	尾鷲会場 尾鷲高校	伊賀会場 名張高校
1日目	「地域づくりに必要な広報とは？」 ・広報の必要性について学ぶ ・プランニングの手法について ・プレスリリース作成・・・etc	日時 9月12日（土） 10時～17時 受講者実績：19人	日時 10月3日（土） 10時～17時 受講者実績：14人	日時 10月25日（日） 10時～17時 受講者実績：10人
2日目	「インターネットやSNSを用いた効果的な広報・情報発信とはどんなもの？」 ・インターネット、SNSの特性を学ぶ ・ホームページ・ブログ作成など ・効果的なSNS作成・・・etc	日時 10月18日（日） 10時～17時 受講者実績：18人	日時 10月10日（土） 10時～17時 受講者実績：10人	日時 11月14日（土） 10時～17時 受講者実績：16人
3日目	「ビデオカメラを使った映像作りに挑戦！」 ・映像制作の基本を学ぶ ・ルーンの原稿作成 ・編集作業を体験 ・まとめ、振り返り・・・etc	日時 10月31日（土） 10時～17時 受講者実績：14人	日時 11月1日（日） 10時～17時 受講者実績：12人	日時 11月29日（日） 10時～17時 受講者実績：10人

# 三重を愛する“絆”が力になる

三重県のこと大好きな皆さんのための

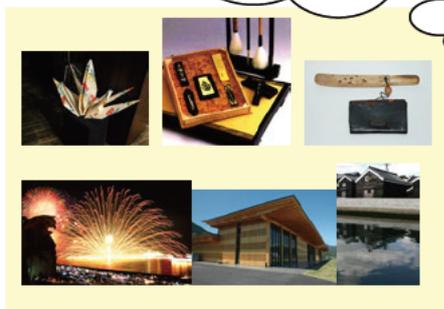
## 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」サポーターズクラブ誕生

### 会 員 募 集 中

今は三重を離れて  
いるけど、三重の  
ことが大好き！

「<sup>うま</sup>美し国おこし・  
三重」をサポート  
したい！

三重の良さをもっとみんな  
に伝えたい！



「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」を応援していただく皆さんのサポーターズクラブができました。

「地域をより良くしていこうと頑張っているみんなの活動を支援したい。」「今は三重に住んでいなくて、直接三重のまちづくりには参加できないけれど、三重を愛する気持ちはだれにも負けない！」・・・。そんな熱い思いを持つみなさん、私たちと一緒に「<sup>うま</sup>美し国三重」を更に素晴らしいものにしていきましょう！

「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会では、サポーターの皆さんに、地域づくりを行うグループ（「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」に登録いただいたパートナーグループ）の活動や、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」実行委員会の取組においてサポートいただきたいこととお知らせし、お手伝いいただけることを期待しています。皆様のご入会をお待ちしています。

<sup>うま</sup>**入会無料!! 「美し国おこし・三重」の情報いっぱいお届けします！**

入会時に、会員証、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」オープニング手帳、「オリジナル・クリアフォルダ」をお送りします。その後も「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の最新の情報をお届けします。

例えば・・・

- ✿ 機関紙「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」だより（不定期刊）、座談会だより「あむあむ」（隔月刊）の発行
- ✿ サポーターの皆さんが行っていただいた「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」のPR活動のHPなどでの発信
- ✿ メールマガジンの発行（月1回程度）・・・など「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の最新の情報がいっぱい。

「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」とは？

2009年（平成21年）から2014年（平成26年）までの6年間にわたって、地域をより良くしていこうとする住民の皆さんによる地域づくりの活動を多様な主体で支援していく取組です。



◆ 入会資格

三重県を愛し、「<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重」の取組の趣旨に賛同される方であれば、どなたでも入会できます。(個人、グループ、県内在住、県外在住を問いません。)

◆ サポートをお願いしたい内容

ライフスタイルやご都合にあわせて、「<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重」の取組のサポートをお願いします。

①PRサポート

・ お住まいの地域での「<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重」の取組をもっと知ってもらうためのPR

- 例 ① 会議、イベントなどの場を活用したPR、チラシの配布\*  
 ② 県外の三重県ゆかりの地におけるPR活動\* など

\* のぼりを活用したPR、チラシ等の配布をお願いできる場合には、実行委員会事務局からお送りします。(のぼりは貸与)

②担い手サポート

・ 「<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重」パートナーグループの活動や実行委員会の取組へのサポート

- 例 ① パートナーグループの活動に担い手として直接参加してのサポート  
 ② パートナーグループのネットワークづくりのサポート (関係する団体のご紹介など)  
 ③ パートナーグループの活動促進のサポート (県外などでの販路のご紹介など) など

◆ 登録方法

下の入会申込書にご記入の上、ファックス又は郵送で事務局までお送りください。

電子メールでお送りいただく場合には、申込書にある必要事項を記載いただき、件名に「『<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重』サポーターズクラブ入会申し込み」と記載してください。

◆ お申し込み・お問い合わせ先

「<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重」実行委員会事務局  
 (三重県政策部「<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重」推進室内)  
 〒514-8570 三重県津市広明町13番地(三重県庁2階)  
 TEL 059-224-2644 Fax 059-224-2075  
 E-mail [umashi@pref.mie.jp](mailto:umashi@pref.mie.jp)  
 URL <http://www.pref.mie.jp/UMASHI/HP/>

～「ふるさと納税」を通じての  
 応援もお願いします～



ぜひ、ふるさと納税制度もご活用いただき、「ふるさと三重」がさらに元気になるよう応援いただきますようお願いいたします。  
<http://www.pref.mie.jp/FURUSATO>

.....(切り取り不要).....

「<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重」実行委員会事務局 川端・藤田 あて (Fax 059-224-2075)

「<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重」サポーターズクラブ入会申込書

(フリガナ)			
お名前			
※ グループの場合、グループ名	代表者名		グループ 構成員数
ご住所	〒 (      -      )		
※ グループの場合、代表者のご住所			
電話番号			
E-mailアドレス	@		
あなたの三重県、「 <sup>うまし</sup> 美し国おこし・三重」に対する思いをお書きください。			
お願いできるサポート活動 (お願いできるもの全てにチェックしてください。)	<input type="checkbox"/> お住まいの地域等での「 <sup>うまし</sup> 美し国おこし・三重」のPRサポート <input type="checkbox"/> 「 <sup>うまし</sup> 美し国おこし・三重」のパートナーグループや実行委員会が行う活動の担い手サポート		

※ご記入いただきました内容は、この「<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重」に関する業務のみで使用することとし、住所、氏名、連絡先等の個人情報、「<sup>うまし</sup>美し国おこし・三重」実行委員会個人情報保護規程で準用する三重県個人情報保護条例に従って適切に管理します。

## オープニング

実施日	市町	場所	備考
<b>拡大座談会(ワールドカフェ方式)</b>			
平成21年 2月28日(土)【済】	名張市	名張市桔梗が丘公民館	名張市主催の「地域づくり協議会」と「市民公益活動団体」との実践交流会と併せて実施
平成21年 6月25日(木)【済】	紀宝町	紀宝町福祉センター	紀宝町社会福祉協議会の「いきいきサロン」代表者会議と併せて実施
平成21年10月15日(木)【済】	志摩市	志摩市阿児アリーナ	講師: 矢野 憲一氏(元伊勢神宮神職・現NPO法人五十鈴塾塾長) 演題: 「伊勢・志摩の食材と神様の食事」
平成21年11月 4日(水)【済】	伊勢市	賓日館	講師: 前野 まさる氏(日本イコモス国内委員会委員長) 演題: 「道の世界遺産登録に向けて ~世界会議・国際交流シンポジウムを総括する~」
平成21年11月 8日(日)【済】	多気町	多気町民文化会館	「医食同源フォーラムin多気町」(主催: 医食同源みえ(PG))と併せて実施
平成21年11月22日(日)【済】	桑名市、木曾岬町	ながしま遊館	講師: 宮本倫明氏(「美し国おこし」三重、総合プロデューサー) 演題: 「自立型地域創生術」
平成21年11月29日(日)【済】	尾鷲市、紀北町	紀北町町民センター	講師: 原 康久氏(総務省地域人材活性化事業地域人材ネット) 演題: 「自分の元気が地域の元気!」
平成22年 2月 7日(日)【済】	熊野市、御浜町、紀宝町	紀宝町保健センター	テーマ: 地域の農業の未来を考える パートナーグループであるアクティブファーマーズと共催
<b>対話する、大会(ワールドカフェ方式)</b>			
平成21年12月20日(日)【済】	玉城町(伊勢志摩地域)	玉城町保健福祉会館 ふれあいホール	講師 田中 俊弘氏(岐阜薬科大学特命教授) 演題 「先人に学ぶ ~近世伊勢における本草学~」
平成22年 1月23日(土)【済】	津市(中勢地域)	津センターパレスホール	講師 藤田 志穂氏(元ギャル社長) 演題 「若者とつながる力」
平成22年 1月30日(土)【済】	桑名市(北勢地域)	くわなメディアライヴ	フォーラム: 「第1回観光甲子園」のグランプリ受賞校(横浜市立みなと総合高校)及び三重県内の優秀作品受賞校(三重県立名張高校)。
平成22年 2月 6日(土)【済】	伊賀市(伊賀地域)	三重県伊賀庁舎	講師 河田 瑠子氏 ('うちの実家、代表 平成19年度地域づくり総務大臣表彰個人賞受賞) 演題 「ご近所付き合いの輪 ~みんなで創る安心社会~」
平成22年 2月14日(日)	尾鷲市(東紀州地域)	尾鷲市中央公民館	講師 黒川 敬氏 (NHK「難問解決ご近所の底力」NHK名古屋放送局チーフプロデューサー) 演題 「ご近所の底力、発掘の秘訣」

## オープニング

実施日	市町	場所	備考
<b>成果発表・交流会</b>			
平成22年 2月28日(日)	津(全体)	メッセウイング・みえ 展示ホール(A~B2面使用)	キックオフプロジェクトの実践発表 大規模交流会(ワールドカフェ方式) パートナーグループによる展示、物販 他

## オープニング

実施日	市町	場所	備考
<b>熊野古道世界遺産登録5周年記念事業</b>			
平成21年 7月19日(日)【済】	尾鷲市	熊野古道センター	語り部友の会10周年記念事業と共催で、「美し国おこし」三重、交流会の実施
平成21年11月 4日(水)【済】 (再掲)	伊勢市	賓日館	講師: 前野 まさる氏(日本イコモス国内委員会委員長) 演題: 「道の世界遺産登録に向けて ~世界会議・国際交流シンポジウムを総括する~」
平成21年11月15日(日)【済】	紀北町	紀北町多目的会館	日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会と共催で、「美し国おこし」三重、交流会の実施。 講師: 小倉肇(紀北町元教育長) 演題: 「熊野古道の魅力とそれを活かしたまちづくり」
<b>平成21年度全国知事会議</b>			
平成21年 7月13~15日(月~水)【済】	伊勢市	三重県営サンアリーナ	平成21年度全国知事会議において「美し国おこし」三重、ブース設置
<b>第33回全国高等学校総合文化祭</b>			
平成21年 7月29日(水)【済】	伊勢市	三重県営サンアリーナ	第33回全国高等学校総合文化祭において「美し国おこし」三重、ブース設置
<b>第29回世界新体操選手権三重大会</b>			
平成21年 9月11~13日(金・土・日)【済】	伊勢市	三重県営サンアリーナ	第29回世界新体操選手権三重大会において「美し国おこし」三重、ブース設置
<b>伊勢湾台風50周年事業「2009防災のつどい・みえ」</b>			
平成21年 9月26、27日(土・日)【済】	桑名市	桑名輪中ドーム・輪中の郷	伊勢湾台風50周年事業「2009防災のつどい・みえ」において「美し国おこし」三重、のブース設置及びパートナーグループによるブース設置
<b>木曾三川公園「流域祭2009」</b>			
平成21年10月11、12日(日・月祝)【済】	岐阜県海津市	木曾三川公園	木曾三川公園「流域祭2009」において「美し国おこし」三重、ブース設置
<b>第4回子育て応援!わくわくフェスタ</b>			
平成22年1月16、17日(土・日)【済】	伊勢市	三重県営サンアリーナ	第4回子育て応援!わくわくフェスタにおいて「美し国おこし」三重、ブース設置
<b>第3回美し国三重市町対抗駅伝</b>			
平成21年2月21日(日)	津市~伊勢市	三重県営総合競技場	三重県営総合競技場において「美し国おこし」三重、ブース設置
<b>メディカルバレーフォーラム2010</b>			
平成22年2月26、27日(金・土)	伊勢市	三重県営サンアリーナ	メディカルバレーフォーラムにおいて、セミナー共催(27日)と「美し国おこし」三重、ブース設置(両日) 講師: 食養料理研究家 市川加代子 他 演題: 「台所はくすり箱」

## 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」キックオフプロジェクトについて

平成21年度は、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」の取組の趣旨を県民の皆さんに、より一層理解していただくとともに、取組に参画いただくため、実行委員会が、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」のモデルとなるパートナーグループの取組をキックオフプロジェクトとして位置づけ、重点的に支援していきます。

キックオフプロジェクトの選定は、実行委員会の企画委員会プロジェクト認定部会での議論を経て、次の10件を採択しました。

### 1 桑名の千羽鶴（連鶴）プロジェクト

パートナーグループ：桑名の千羽鶴を広める会（6月PG登録済）

主たる活動エリア：桑名市 ほか10市町

概要：国際協力・支援を実践している県内外の団体・教育機関と協力し、市民の「心」が込められた桑名の千羽鶴（連鶴）を同封した救援物の提供、現地日本人スタッフや海外からの留学生に対する「折姫の出前講座」などの仕組みの構築をめざし、活動を拡大していきます。さらに、子どもたち向けの講座や教材の無料化を図るため、桑名の千羽鶴（連鶴）の商品化や企業への出前講座による収益事業の実現と専用和紙の生産者開拓を図り安定化をめざします。

### 2 地産地消・商店街活性化・福祉のまちづくり連携プロジェクト

パートナーグループ：三重・とらいあんぐる（8月PG登録済）

主たる活動エリア：四日市市

概要：四日市1番街において、商店街の空き店舗対策として、県内の安全安心な食材を販売する定期的な「市」を開催し、イベント的展開から恒常的展開をめざします。空き店舗の活用、販売要員として障がい者・高齢者の参画を得て、収益による商店街活性化やコミュニティビジネスのモデル確立、さらには福祉のまちづくりをめざします。今年度は、県内全域の生産者とのネットワークづくり、販売イベントを実施します。

### 3 住民交流カフェプロジェクト

パートナーグループ：ぽっかぽかの会（6月PG登録済）

主たる活動エリア：亀山市

概要：障がいを持った方々の働く場・集いの場となる地産地消の取組をタイアップしたカフェの開業をめざします。営業的に成立させるべく、亀山市の地域風土や生産加工品を活かした個性あるメニュー（例えば、自然薯など）や雰囲気づくりを大切にしながら、亀山市内の生産者や加工グループとのネットワーク化を図ることによって、原材料の仕入れ方法の効率化、障がい者やその家族による生産加工のサポートシステムの実現をめざします。

#### 4 手作り甲冑プロジェクト

パートナーグループ：NPO 法人 三重ドリームクラブ（8月 PG 登録済）  
主たる活動エリア：津市

概要：県内に伝わる伝統祭の保存及び継承、地域イベントの支援を目的として設立された NPO 法人で、2 年前から津まつりの盛り上げと市民の参加を実現するべく取り組んでいる「手作り甲冑教室」は、甲冑の完成度の高さや城下町である地域性を祭りに表現できる試みであり、今後、手作り甲冑教室の開催機会の増、組み立てキットや完成品の販売、甲冑や甲冑隊のレンタル展開を目指します。今年度は、子供向け手づくり甲冑の製作開始、WEB インフラの整備（事業紹介や手づくり甲冑教室参加者募集など）、甲冑利活用（PR）手法の検討や試行を行っていきます。

#### 5 たき環境くらぶ“竹遊号”プロジェクト

パートナーグループ：たき環境くらぶ“竹遊号”（ちきゅうごう）  
（8月 PG 登録）

主たる活動エリア：多気町

概要：多気町民等で構成する「多気町まちづくり仕掛人塾」は、クリスタルタウン（商業・工業・環境ゾーンからなる複合的開発エリア）の中心に、地域住民の交流拠点となる公園づくりを進めてきました。今回、より幅広い住民に参画してもらい、また主体的に活動していくために、「たき環境くらぶ“竹遊号”」という新たな組織を立ち上げました。住民・企業・学校・各種団体等と行政が協力して、クリスタルの森（町公園）を管理するとともに、ここを拠点に環境に関する各種活動を展開していきます。また、クリスタルの森だけにとらわれず、町や広域的な地域を対象とした「環境を考えたまちづくり」「循環型のまちづくり」を進め、環境各分野で活動する団体とのネットワークづくりを行い、これらの活動を通じて“竹”を主要なテーマの一つとして取り組んでいきます。

#### 6 参宮ブランド「擬革紙」復興・振興プロジェクト

パートナーグループ：参宮ブランド「擬革紙」の会（6月 PG 登録済）  
主たる活動エリア：玉城町 ほか3市町

概要：江戸時代から昭和初期まで、伊勢地方では伊勢参宮の軽くておしゃべりなお土産品として、動物の皮革を模した「擬革紙」を使った煙草入れなどに加工され、人気を博していました。「擬革紙」を現在によみがえらせることが、このプロジェクトの骨子です。和紙の種類や貼り合わせの溶剤製造法等のかなりの部分が不明ですが、製造のための機械の一部は再現され、製品現物は現存しています。

#### 7 地域の文化人をテーマにした地域づくりプロジェクト

パートナーグループ：乱歩蔵びらきの会（7月 PG 登録済）  
主たる活動エリア：名張市

概要：乱歩生誕の地という歴史的背景を子どもから大人まで広く市民に認知してもらい、作品や人物像についての理解、興味を促して地域に愛

着を持っていただくことを目的として、乱歩作品を題材にした舞台公演や講談会、展示会などの活動を実施してきました。「乱歩のまち・名張」として、子どもから大人まで楽しむことができる乱歩作品を舞台上演する劇団を創設し、乱歩生誕の地で実施日のみ出現する専用仮設テントで公演することを目指します。また、同時に三重県内各地の乱歩関連グループや東京豊島区（乱歩が最後の地として選んだのが池袋）、立教大学（乱歩資料や邸宅の管理者）とネットワークを構築し、乱歩サミットの開催や巡回講演を各地で展開していくことを目指します。

#### 8 下河内の里山を守るプロジェクト

パートナーグループ：下河内の里山を守る会（6月PG登録済）

主たる活動エリア：紀北町

概要：4世帯5人になった下河内地区の歴史と生活文化を継承していくため、下河内住民と下河内を愛する有志が集まり、地域産品の蕎麦を利用した蕎麦打ち体験、農地整備などを実施しています。本年度は地域産品の販売による活動資金の確保や蕎麦打ちのスキルアップ、田畑や溪流などの自然資源を活用した体験メニューの開発などを行います。

#### 9 東紀州地域の農業を守れ 侍プロジェクト（七人の農業人獲得大作戦）

パートナーグループ：アクティブファーマーズ（7月PG登録済）

主たる活動エリア：紀宝町 ほか4市町

概要：東紀州地域でも農業の現場では就農者の減少が続き、特に中山間地の小規模な耕作地などは耕作放棄が続いています。地域での農を維持していくことは、産業としての農業にとどまらず、地域の歴史・文化や慣習・修景などの地域アイデンティティを維持していくことにつながります。アクティブファーマーズは、東紀州地域の若手農業経営者のグループです。毎年七人の新規就農者を確保し、産地（南紀みかん、梅）としての規模を維持するために、「情報発信手法」、「就農希望者とのコンタクト」、「受け入手法の検討」、「地域交流拠点づくり」、「農地・借家問題の解決」、「集落やグループでの支え合い手法の検討」など新規就農者に対する支援活動を展開し、農業を核とした地域活性化の活動を目指します。

#### 10 医食同源・三重の生物資源利活用プロジェクト

パートナーグループ：「医食同源みえ」（5月PG登録済）

主たる活動エリア：伊勢市 ほか18市町

概要：統合医療（西洋医療と漢方、鍼灸、中医、民間療法など伝統医療を統合した医療体系）の考え方を「医食同源」というわかりやすい言葉でアピールし、その運動の裾野を広げていくために、県内各地の統合医療に関心のあるメンバーを中心に産官学民連携で設立されました。「伝統薬の復活」、「山野草・薬草を核にしたツーリズムの振興」、「薬膳・健康食の提供」、「ライフスタイルの啓発」など、県内のグループのネットワークを構築しつつ、各グループの活動を支援する中間支援組織をめざします。